

科学の祭典2024



10/19(土) 20(日)に、長崎市科学館にて科学の祭典2024年が開催されました。全部で24のブースが参加し、参加者は実験や工作を楽しむことができたそうです。本学の船舶工学コースと機械工学コースから「船と海を学ぼう」「洋上風力発電を学ぼう」「Nias構造音響特性研究会～振動模様と振動発電～」の合計3ブースが参加しました。

洋上風力発電を学ぼう

● どんな学習なの？

長崎県は豊かな海に囲まれ島の数も日本で一番多い「海洋県」であり、洋上風力発電や潮流発電などの海を利用した海洋再生可能エネルギーの開発が進んでいます。四方を海に囲まれている日本のこれらのエネルギーと海洋産業について一緒に楽しく学びましょう。

● ながさきの洋上風力発電を楽しく学び、くわしく知ろう！

“洋上風力発電”とは、海の上に大きな風車を持っていき、そこで風の力で電気を起こすという発電の仕組みです。陸上に設置する風力発電に比べて、効率的に大量のクリーンエネルギーを発電することができます。これまで欧州を中心に大きな利用がなされています。発電装置の模型を使い実際に電気を起こして洋上風力発電の仕組みを詳しく学びましょう。

● 洋上風力発電の模型

“洋上風力発電装置”と洋上風力発電に携わる“海洋探査船”、“作業船”、“アクセス船”などの模型を展示します。実際の洋上工事の手順を楽しく学びましょう。

● 風力発電のペーパークラフト配布

風力発電のペーパークラフトを配布します。おうちで風車をつくってみましょう！

長崎総合科学大学



大学イメージキャラクター
(愛称：おばまる)



船と海を学ぼう

● どんな学習なの？

長崎県は豊かな海に囲まれ島の数も日本で一番多い「海洋県」であり、また日本の近代造船業の発祥の地でもあります。その長崎の地で、長崎総合科学大学 海洋・スポーツ文化センターは日本で一番海に近いという大学の特色を生かし、海洋スポーツ・海洋文化の普及を図るための活動を支援しています。四方を海に囲まれている日本の「海と船」について一緒に楽しく学びましょう。

● ながさきの造船業を楽しく学び、くわしく知ろう！

長崎は“日本の近代造船業発祥の地”です。みなさんの暮らしと長崎の産業を支える“船”について楽しく学びましょう。みなさん、ご存知でしょうか？大きな船は船体をいくつかの「ブロック」に分けてつくられます。ここではブロック模型で“船づくり”を体験します。

● ロープワーク体験

ロープワークとは、ロープで船と機橋をつないでいる時に使われます。ロープワークは、船舶の運用時に欠かす事の出来ない技術のひとつです。覚えるとても便利なロープのむすびかたを学びます。ぜひチャレンジしてみてくださいね！

● 船のペーパークラフト配布

船のペーパークラフトを配布します。おうちで船をつくってみましょう！

長崎総合科学大学

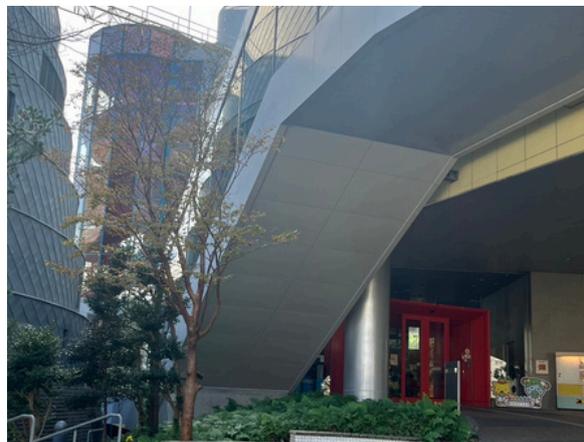
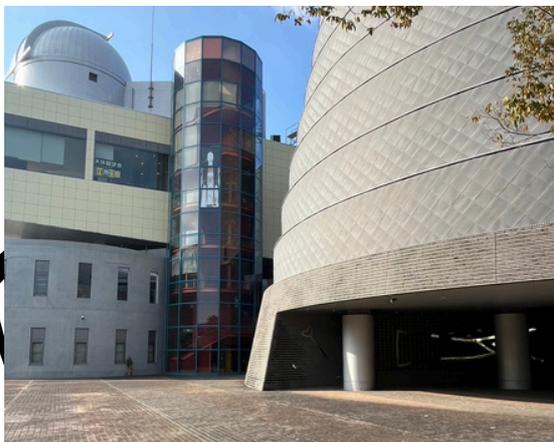


大学イメージキャラクター
(愛称：おばまる)



科学の祭典とは？

多くの青少年に科学の面白さや不思議さを直接体験してもらい、実験、観察、工作、体験をとおして得られる感動をみんなで共有することをめざした全国的な活動です。



長崎市科学館（油木町7-2）

HP : <https://www.nagasaki-kagakukan.jp/>